

3.国内における国際標準化審議体制

国内では〔社〕日本電機工業会(JEMA)が日本工業標準調査会(JISC)よりIEC/TC105の審議団体に指定され、用語、定置用燃料電池およびポータブル燃料電池の国際標準化を議論する燃料電池国際標準化委員会がJEMAに設置された。その後、マイクロ燃料電池関係を議論する携帯機器用超小型燃料電池標準化委員会も設けられた。またそれぞれの委員会の下には国際WGに対応する国内WG(JWG)が編成され、さらに、PEFC単セル試験法の国際標準提案準備のために、試験法調査WGも2005年に設けられて、現在図3のような国内体制で活発な活動を行なっている。各JWGには表2に示すような企業、機関、大学が参加している。

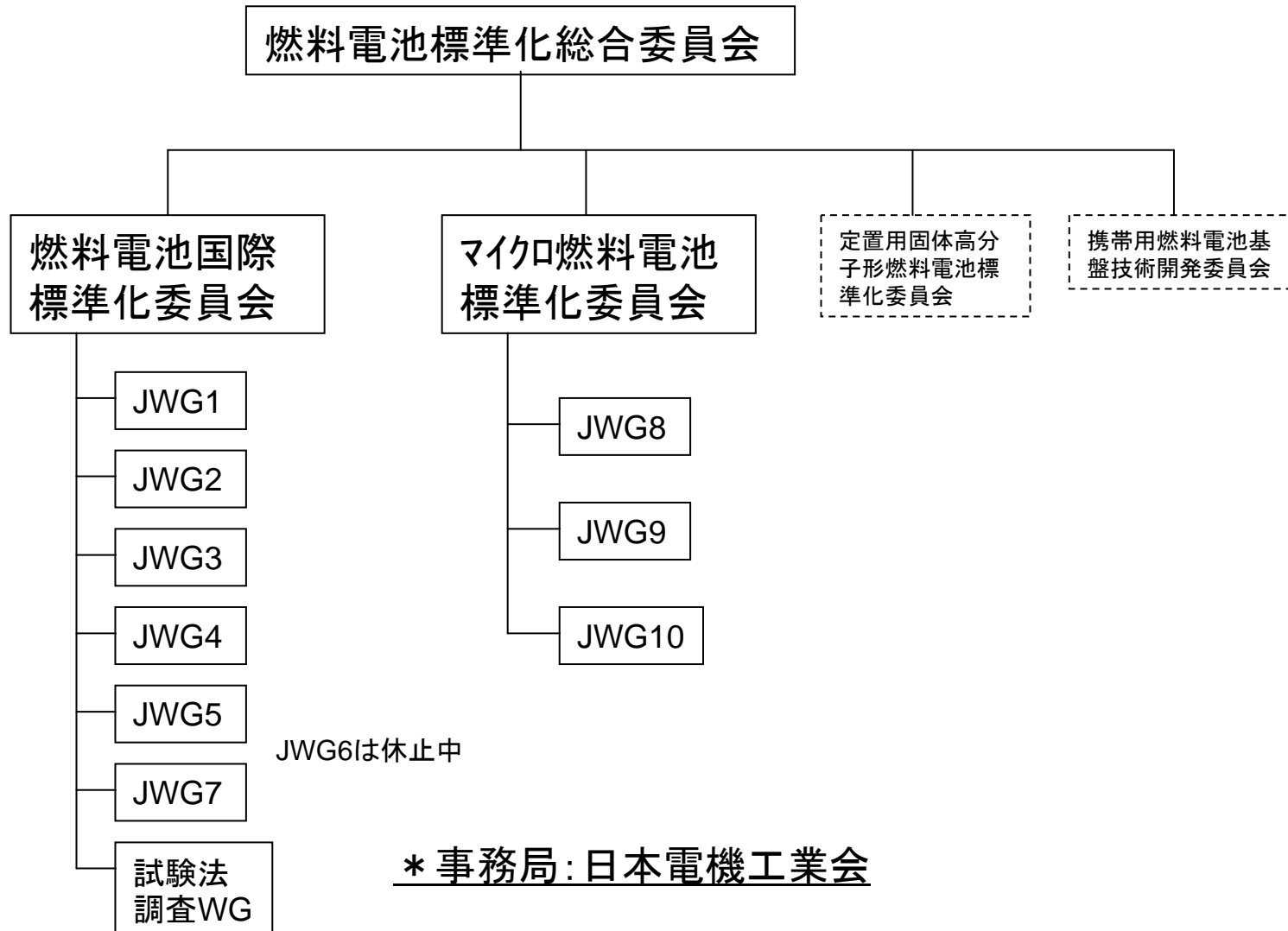


図2 燃料電池国際標準化の国内体制

表2 国内WG(JWG)の編成

国内WG	作業テーマ	委員所属機関
JWG1	用語	産総研, 横国大, 東京電機大, 電中研, 三菱重工, 東芝燃料電池システム, 三菱電機, 東京ガス, FCDIC
JWG2	FCモジュール	東京ガス, 電中研, 産総研, 三洋電機, 日本ガス協会, 富士電機, 松下電産, 東芝燃料電池システム, FCDIC
JWG3	定置用・安全要件	東芝燃料電池システム, 日本ガス協会, 岩谷産業, 新日本石油, パプコック日立, 松下電産, 三菱電機, 石播重工, 三菱重工, 東京ガス, FCDIC
JWG4	定置用・特性試験法	富士電機AT, 東京ガス, エネ総工研, 東芝燃料電池システム, 三菱重工, 三洋電機, FCDIC, 新日本石油, 日燃研, 日本ガス協会
JWG5	定置用・設置要件	松下電産, 東京ガス, 電事連, NTT, 富士電機AT, 日燃研, 出光興産, 新日本石油ガス, 三菱液化ガス, 日本ガス協会, FCDIC
JWG7	ポータブル用	松下電工, 三洋電機, NTT, 栗本鉄工所, 日本ガス協会, FCDIC
JWG 8,9,10	マイクロ用	東芝, 日立, NEC, SONY, カシオ, 三洋電機, 日本製鋼所, NTT, キヤノン, 松下電池, 東海, 東洋製罐, 栗田工業, 富士通, KDDI, GSユアサ, 三菱電機, シャープ, 産総研, FCDIC
試験法調査WG	新規提案	産総研, 東京ガス, JARI, JFCA, NEDO, 電中研, 富士電機, 日本ガス協会, FCDIC

注) JWG6は標準化活動を休止中